

第2 令和2年度事業報告

1 第52回（令和2年度）総会概要

日 時： 令和2年6月12日（金）

場 所： ハイランドリゾートホテル&スパ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止

期 間： 令和3年1月28日（木）～2月3日（水） メールによる書面決議

会員92大学 提出：78大学（回答率84.8%）、未提出：14大学

次 第：

(1) 報告事項

ア 令和元年度事業報告

前会長館の島根県立大学が発行した、会報第51号4～10頁及び32～38頁の抜粋資料をもとに、令和元年度総会、会議、職員研修、出版について文書にて報告を行った。

イ HP委員会報告

会報第51号11頁の抜粋資料をもとに、委員会の構成、活動状況、ホームページの更新内容、ホームページ訪問件数等について文書にて報告を行った。

ウ 地区活動報告

会報第51号29～31頁の抜粋資料をもとに、地区活動報告について文書にて報告を行った。

エ 関係委員会等報告

会報第51号11～28頁の抜粋資料をもとに、関係委員会等報告について文書にて報告を行った。

オ 令和3年度 第53回総会等の開催について

資料2頁により、令和3年度第1回拡大役員会を令和3年6月11日（金）にオンライン会議で、また、第53回総会を令和3年6月16日（水）～23日（水）にメールによる書面会議で開催することを文書にて報告を行った。しかし、加盟館より、第1回拡大役員会で、次回総会の開催方法はメール審議ではなく、オンラインでの実施なども検討すべきとの意見が出ていたはずとの指摘があったので、開催方法について、「メールによる書面会議」に「（予定）」を付け加え、後日、全加盟

館に修正報告を行った。

カ 公立大学協会図書館協議会改革小委員会の今後の予定について

資料2頁により、公立大学協会図書館協議会改革小委員会の今後の予定について文書にて報告を行った。しかし、報告内容に一部誤りがあったため、後日、全加盟館に修正報告を行った。

(2) 協議事項

ア 役員を選出について

資料3～4頁により、今年度以降の役員の原案について文書にて説明を行い、原案のとおり承認された。説明の概要は以下のとおり。

- ・会長館は2期前の拡大役員会と総会で内定する。令和4年度について東海・北陸地区の愛知県立大学に内定する。（令和3年度は熊本県立大学が内定済。）
- ・令和3年度総会開催館は熊本県立大学が内定する。令和4年度総会開催館については、開催地が岐阜県であることは決定しているが、担当する開催館は調整中。
- ・監事館は、令和3年度は大分県立看護科学大学と山口県立大学に内定する。
- ・HP委員会は、会長館が指名することとなっており、引き続き大阪市立大学をはじめ5大学に継続依頼。

イ 関係委員会委員等の推薦について

資料4～5頁により、関係委員会等へ公立大学図書館を代表して、記載の大学及び個人の派遣について文書にて説明を行い、原案のとおり承認された。

ウ 令和元年度決算報告・監査報告について

資料6～7頁により、決算報告・監査報告について文書にて説明を行い、原案のとおり承認された。

エ 令和2年度事業計画（案）について

資料8～9頁により、委員会等活動、研修活動、渉外活動、地区活動、出版について文書にて説明を行い、事業計画は原案のとおり承認された。地区活動の概要は以下のとおり。

・地区活動

① 北海道・東北地区（名寄市立大学）

令和2年度公立大学協会図書館協議会北海道・東北地区館会議
メールによる書面会議

② 関東・甲信越地区（群馬県立県民健康科学大学）

令和2年度公立大学協会図書館協議会関東・甲信越地区協議会

メールによる書面会議

③ 東海・北陸地区（岐阜県立看護大学）

令和2年度公立大学協会図書館協議会 東海・北陸地区 館会議

Zoomによるweb会議

④ 近畿地区（奈良県立医科大学）

令和2年度 近畿地区 協議会総会

⑤ 中国・四国地区（高知工科大学）

第26回 公立大学協会図書館協議会 中国・四国地区 協議会総会

メールによる書面会議

⑥ 九州地区（北九州市立大学）

九州地区大学図書館協議会公立大学部会

メールによる書面会議

オ 令和2年度予算（案）について

カ 公立大学協会図書館協議会会則の一部変更について（会長館）

令和2年度予算（案）と会則の一部変更については関連があるため、一括での取り扱い審議とした。

資料10頁及び資料12～18頁により、予算案と会則の一部変更について文書にて説明を行い、原案のとおり承認された。

予算案及び会則の一部変更の概要は以下のとおり。

- ・令和2年度会費は、前年度の総会で決議された会費減額措置の初年度となり、3万円から5千円減額された、2万5千円を各会員館から徴収する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴い、総会、各種事業等が軒並み中止となり、支出の縮小が見込まれ、これまで繰越金問題を協議してきた経緯を考慮し、今年度については、繰越金の減少を促進するため、会費を徴収しないこととする。
- ・会則の一部変更は、前年度、会費減額措置を決定した際に附則で対応したことと同様に、附則に追加記載する。
- ・収入は、会費収入を0円とし、前年度からの繰越金と雑収入を予算計上する。次に、支出は、総会、研修等の開催中止に伴い、会議費や報償費や研修費は0円に、諸活動費は支出が想定される前年度実績額を参考に減額し、負担金と事務費は前年度と同額に予算計上する。

キ 大学図書館職員長期研修および短期研修への派遣について

資料11頁により大学図書館職員長期研修および短期研修への派遣について文書にて説明があり、原案のとおり承認された。概要は以下のとおり。

- ・長期研修：今年度は開催中止。来年度は、今年度の研修が中止となったため、推薦予定であった、大阪市立大学および岡山県立大学を推薦する。
- ・短期研修：開催中止。

2 第52回（令和2年度）総会追加審議概要

期 間： 令和3年2月12日（金）～2月18日（木） メールによる書面決議
会員92大学 提出：64大学（回答率69.6%）、未提出：28大学

(1) 協議事項

ア 関係委員会委員等の推薦について

資料1頁により、国公立大学図書館協力委員会の大学設置基準改正タスクフォースへ公立大学図書館を代表して、記載の大学の派遣について文書にて説明を行い、原案のとおり承認された。

2 会議及び各種委員会等活動

(1) 公立大学協会図書館協議会 令和2年度役員会（都留文科大学）

ア 第1回拡大役員会

日 時： 令和2年12月25日（金） 10時～11時30分

開催方法： Zoomによるオンライン会議

出 席： 19大学 27名（うち、役員館12大学）

欠 席： 3大学

議 事：

<報告事項>

- ① 令和元年度事業報告
- ② HP委員会報告
- ③ 地区活動報告
- ④ 関係委員会等報告
- ⑤ 令和3年度第53回総会等の開催について
- ⑥ その他

<協議事項>

- ① 役員を選出について
- ② 関係委員会委員等の推薦について
- ③ 令和元年度決算報告・監査報告
- ④ 令和2年度事業計画（案）について
- ⑤ 令和2年度予算（案）について
- ⑥ 公立大学協会図書館協議会会則の一部変更について
- ⑦ 大学図書館職員長期研修及び短期研修への派遣について
- ⑧ 公立大学協会図書館協議会改革小委員会の今後の予定について
- ⑨ その他

イ 第2回拡大役員会

期 間： 令和3年3月22日（月）～25日（木）

開催方法： メールによる書面決議

提 出： 14大学

未提出： なし

議 事：

<報告事項>

- ① 令和2年度事業報告
- ② HP委員会報告

- ③ 地区活動報告
- ④ 関係委員会等報告

<協議事項>

- ① 第53回(令和3年度)総会等開催方法(案)について
- ② 令和3年度以降の役員の選出について
- ③ 令和3年度の関係委員会等委員等の推薦について
- ④ 大阪市立大学・大阪府立大学の大学統合による役員ローテーションの変更について
- ⑤ 公立大学協会図書館協議会改革小委員会の設置について

ウ 第2回拡大役員会の<協議事項>のうち、主な審議結果

(ア) 第53回(令和3年度)総会等開催方法(案)について

次期会長館の熊本県立大学から提出された資料により、第1回拡大役員会は、原案の通り承認された。総会は、開催方法を含め、継続審議として、持ち越しとなった。

(イ) 令和3年度以降の役員の選出について

会長館から提出された資料により、令和4～5年度の副会長館が滋賀県立大学になることが、また、令和4年度の総会開催館が岐阜県立看護大学と情報科学芸術大学院大学と岐阜薬科大学になることが示され、原案の通り承認された。

(ウ) 令和3年度の関係委員会等委員等の推薦について

会長館から提出された資料により、記載された大学・個人を関係委員会等へ派遣したい旨の内容が示され、原案の通り承認された。

(エ) 大阪市立大学・大阪府立大学の大学統合による役員ローテーションの変更について

大阪市立大学と大阪府立大学が、2022(令和4)年4月に大学統合し、新たに大阪公立大学が設立され、図書館の組織も統合されるため、役員選任手続細則の別表(各委員の選出方法について)の役員ローテーションの変更案が資料により示され、原案の通り承認された。

(オ) 公立大学協会図書館協議会改革小委員会の設置について

大阪府立大学及び国際教養大学から提出された資料により、改革小委員会の構成と進め方の案が示され、原案の通り承認された。

(2) HP委員会（大阪市立大学）

ア 委員館

- (ア) 委員長館（ホームページ管理）：大阪市立大学
- (イ) 委員館：東京都立大学、横浜市立大学、名古屋市立大学、大阪府立大学

イ 概要

<活動状況>

新型コロナの影響下、行事並びに会議に係り、中止やオンライン開催の変更情報について、発信を努めた。

<主な更新内容>

- 2020/04/01 会長就任挨拶
- 2020/05/18 第52回（令和2年度）公立大学協会図書館協議会拡大役員会・総会及び情報交換会の中止等について

（随時） 規程集・加盟館概要・年間スケジュールの更新など

ウ 統計

Google Analytics による集計

期 間	: 2020/1/1-2020/12/31	(前年 2019/1/1-2018/12/31)
訪問数	: 5,193 件	(3,524 件)
ページビュー	: 16,935 ページ	(18,035 ページ)
平均滞在時間	: 2分30秒	(3分16秒)
平均閲覧ページ数	: 3.26 ページ	(3.65 ページ)

(3) 国公立大学図書館協力委員会（横浜市立大学）

ア 構成

(ア) 委員長館

- 令和元年度 筑波大学（令和元年8月1日～令和2年7月31日）
- 令和2年度 慶應義塾大学（令和2年8月1日～令和3年7月31日）

(イ) 委員館（*は常任幹事館）

- a 国立大学 *東京大学、*筑波大学、京都大学、名古屋大学
- b 公立大学 *横浜市立大学、*名古屋市立大学（～令和2年7月31日）
*大阪市立大学（令和2年8月1日～）、東京都立大学

- c 私立大学 *慶應義塾大学、*早稲田大学、國學院大学、法政大学、佛教大学、名城大学

イ 会議

(ア) 協力委員会

a 第88回国公立大学図書館協力委員会

日 時：令和2年7月22日（水）14時30分～16時15分

開催方法：Teams

議 事：

[報告事項]

会務報告など

[協議事項]

- ・ 専門委員会主査について
専門委員会主査が原案のとおり承認された。
- ・ 次期委員長館の選出について
令和2（2020）年度委員長館は慶應義塾大学に決定した。
- ・ 大学図書館著作権検討委員会の文化庁宛要望書提出について
大学図書館著作権検討委員会より、「文化庁文化審議会著作権分科会」にて「図書館関係の権利制限規定の見直し（デジタル・ネットワーク対応）について」の検討が行われることを受け、文化庁へ検討依頼を提出したいと提案があった。協力委員会後も意見徴収を行ったうえで、要望書を提出することが承認された。

b 第89回国公立大学図書館協力委員会

日 時：令和2年11月30日（月）14時～15時30分

開催方法：Zoom

議 事：

[報告事項]

会務報告など

[協議事項]

- ・ 令和元（2019）年度決算報告書（案）および監査報告について
決算及び監査報告が原案とおり承認された。
- ・ 令和2（2020）年度予算（案）について
同予算案が原案のとおり承認された。
- ・ 監事館の選出について
委員館から東京都立大学、委員館以外から東洋大学が推薦され、承認された。

- ・NII との連携・協力の推進に関する協定書の継続について協定を継続することが承認された。
- ・国立大学図書館協会の大学設置基準改正試案について国立大学図書館協会における議論を踏まえ、常任幹事館を中心に数大学を加えたタスクフォースを設置し、各図書館協（議）会からも意見を聴取したうえで、3月末を目途に検討を進めることが承認された。

(イ) 常任幹事会・常任幹事館担当者打ち合わせ

a 令和元（2019）年度第2回常任幹事会

日 時：令和2年7月22日（水）13時～13時15分

開催方法：Teams

議 事：

- ・第88回国公私立大学図書館協力委員会の議事について

b 令和2（2020）年度第1回常任幹事館担当者打ち合わせ

日 時：令和2年11月11日（水）14時～15時40分

開催方法：Zoom

議 事：

- ・第89回国公私立大学図書館協力委員会の開催について
- ・2019年度決算及び2020年度予算案について
- ・2020年度幹事館候補について
- ・国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会について
- ・大学図書館シンポジウムについて
- ・協力委員会メーリングリストのエラー受信設定について
- ・日本図書館協会大学図書館部会規程の改正について
- ・SCOAP³の状況について
- ・NII との連携・協力の推進に関する協定書の継続について
- ・「大学設置基準」国立大学図書館協会改正試案について

c 令和2（2020）年度第1回常任幹事会

日 時：令和2年11月30日（月）13時～13時25分

開催方法：Zoom

議 事：

- ・第89回国公私立大学図書館協力委員会の議事について

(ウ) 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

a 第20回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

日 時：令和2年9月23日（水）～30日（水）

開催方法：メール審議

議事：

- ・大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について
- ・これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について
- ・オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の活動について
- ・国立情報学研究所の最近の動向について
- ・国公立大学図書館協力委員会の最近の動向について

b 第21回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

日 時：令和3年2月22日（月）15時～17時

開催方法：Webex：国立情報学研究所 20階実習室1・2

議事：

[トピック・レクチャー]

- ・これからの学術情報共有プラットフォーム「中央システム」の将来像
(佛科大学図書館専門員 飯野勝則氏)

[報告・協議事項]

- ・大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）の活動について
- ・これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について
- ・オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）の活動について
- ・国立情報学研究所 学術コンテンツ事業について
- ・国立情報学研究所 教育研修事業について
- ・国公立大学図書館協力委員会の最近の動向について
- ・NIIとの連携・協力の推進に関する協定書の更新について
- ・会議資料等の国立情報学研究所機関リポジトリ（仮称）への登録について

(エ) 国立国会図書館関係

- a 「令和2年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会」は新型コロナウイルス感染症対策のため、開催中止となった。

(4) 大学図書館著作権検討委員会（都留文科大学、東京都立産業技術大学院大学）

<報告内容>

ア 構成

主査 佐藤 康之（慶應義塾大学）
事務局員 筒井 利子（慶應義塾大学）
委員 竹内 比呂也（千葉大学）（※ ～2020年7月31日）
委員 佐藤 義則（東北学院大学）
委員 森 一郎（東京大学）
委員 高木 晃子（千葉大学）
委員 芳村 幸多朗（東京都立産業技術大学院大学）
委員 松尾 陽子（都留文科大学）
委員 服部 光泰（早稲田大学）

・前回報告の通り、2020年4月1日をもって大学図書館著作権検討委員会と同委員会ワーキンググループを統合することになった。

イ 活動報告 2019（令和元）年8月～2021（令和3）年3月

(ア) 各協議会加盟館周知依頼

2020年4月17日「著作権法第35条の改正について（通知）」の加盟館周知を協力委員会事務局へ依頼した。

(イ) 著作権の最新動向の調査

・委員の分担により文化審議会著作権分科会を傍聴し、メーリングリストでメモを共有した。
2019年9月18日 第19期文化審議会著作権分科会法制・基本問題小委員会（第2回）
2019年10月30日 第19期文化審議会著作権分科会法制・基本問題小委員会（第3回）
2020年6月26日 第20期文化審議会著作権分科会（第58回）
2020年7月29日 第20期文化審議会著作権分科会法制度小委員会（第1回）
2020年9月9日 著作権分科会法制度小委員会 図書館関係の権利制限規定の在り方に関するワーキングチーム（第2回）
2020年9月29日 著作権分科会法制度小委員会 図書館関係の権利制限規定の在り方に関するワーキングチーム（第3回）
2020年10月26日 著作権分科会法制度小委員会 図書館関係の権利制限規定の在り方に関するワーキングチーム（第4回）
2020年12月4日 第20期文化審議会著作権分科会法制度小委員会（第2回）
2021年1月15日 第20期文化審議会著作権分科会法制度小委員会（第3回）

2021年2月3日 第20期文化審議会著作権分科会（第60回）

・著作権法第35条の改正についての説明会に参加し、メーリングリストでメモを共有した。
2020年10月7日 SATRAS 授業目的公衆送信補償金制度に関するオンライン説明会

(ウ) 文化庁とのやりとり

2019年10月30日 侵害コンテンツのダウンロード違法化等に関するパブリックコメントを提出した。

2020年7月30日 要望書「文化審議会著作権分科会での『図書館関係の権利制限の見直し（デジタル・ネットワーク対応）について』における検討について（依頼）」を提出した。

2020年8月27日 著作権分科会法制度小委員会図書館関係の権利制限規定の在り方に関するワーキングチームに関するヒアリングが行われた。

2020年9月16日 著作権分科会法制度小委員会図書館関係の権利制限規定の在り方に関するワーキングチーム（第2回：2020年9月9日開催）での議論を受け、著作権法第31条第3項の送信に対して補償金を課す改正の考え方についての団体意向の照会があり、補償金制度を設ける必要性は低いと考える、と回答した。

2020年9月30日 要望書「文化審議会著作権分科会での『図書館関係の権利制限の見直し（デジタル・ネットワーク対応）について』における検討について（依頼）」を、JULIB（国公立大学図書館協力委員会）の大学図書館著作権検討委員会サイトに掲載した。併せて、2018年7月26日に文化庁へ提出した要望書「改正後の著作権法第67条2項に基づき政令で定める国・地方公共団体に準ずる法人について（依頼）」も掲載した。

2020年12月21日 「図書館関係の権利制限規定の見直し（デジタル・ネットワーク対応）に関する中間まとめ」パブリックコメントを提出した。

(エ) 一般社団法人学術著作権協会（学著協）との合意書更新

「大学図書館間協力における資料複製に関する合意書」について、学著協、各協（議）会と調整し、協力委員会審議を経て2020年3月5日付で更新、2020年3月30日にJULIBウェブサイトに掲載した。

(オ) 日本図書館協会への回答依頼（前回報告からの続き）

2019年4月19日付で日本図書館協会から依頼のあった「著作権法37条3項改正に伴う障が

い者サービス関連のガイドライン改正について」について、8月22日に回答した。2019年11月1日に改正後の同ガイドラインが日本図書館協会ウェブサイトで公開された。

(カ) フォーラム等開催

2019年11月12日 15:30～17:00 大学学習資源コンソーシアム(CLR)・図書館総合展運営委員会との共催で、第21回図書館総合展においてフォーラム「大学の授業のICT化と図書館の役割」を開催した。

2021年1月22日 13:00～16:30 国公立大学図書館協力委員会大学図書館シンポジウム企画・運営委員会・日本図書館協会大学図書館部会(大学図書館研究集会)との共催で、大学図書館シンポジウム「オンライン授業における図書館の役割」をオンライン(Zoomウェビナー)にて開催した。

(キ) 「大学図書館研究」へ投稿論文掲載

2020年1月7日付で以下の論文が公開された。

海浦 浩子, 森 一郎. 著作権法第35条の改正を見据えた大学図書館の教育支援に関するイギリスの実地調査報告. 大学図書館研究. 2019, vol. 113

<https://doi.org/10.20722/jcul.2053>

2020年10月29日付で以下の論文が公開された。

PICCIOTTO, Sol, 高木 晃子訳. (訳) 著作権ライセンス: 英国高等教育機関における複写をめぐる問題. 大学図書館研究. 2020, vol. 115

<https://doi.org/10.20722/jcul.2065>

(ク) JUSTICE との連携

2020年8月20日 電子書籍に関わる問題について JUSTICE へ連携を図るための文書を提出した。電子書籍の契約交渉に携わる協力員を派遣することとした。

ウ 会議開催記録

(ア) 大学図書館著作権検討委員会会議開催

2020年6月22日 15:00-16:30 オンライン会議

(イ) 著作権管理団体 日本複製権センターとの個別協議

公益社団法人日本複製権センター瀬尾代表理事と下記の日程で協議を行った。

2019年8月1日、9月26日、11月28日

2020年1月30日、3月26日、(以降オンライン協議)8月20日、10月16日、12月11日
2021年2月5日、3月19日

(ウ) 著作権に関する図書館団体懇談会

2020年12月15日 日本図書館協会からの呼びかけにより、「図書館等における著作権等の利用に関する当事者協議会」及び「著作権に関する図書館団体懇談会」を再開した。

(エ) 学術著作権協会と懇談会

2021年2月16日 学術著作権協会と意見交換を行った。

(5) 国公立大学図書館協力委員会「大学図書館研究」編集委員会(名古屋市立大学、新潟県立看護大学)

ア 委員名

主 査	大澤 正男	(東京大学)
事務局	佐藤 千春	(東京大学)
事務局	山崎 裕子	(お茶の水女子大学)
委員	佐野 悠	(千葉大学)
	田村 香代子	(筑波大学)
	金子 亜寿沙	(新潟大学)
	飯田 孝枝	(新潟県立看護大学)
	辻 顕暢	(名古屋市立大学)
	村上 孝弘	(龍谷大学)
	伊藤 幸江	(関西学院大学)
	渡辺 貴夫	(立教大学)
	杉谷 美和	(明治大学)
	小西 麻知子	(早稲田大学)
	大橋 史子	(慶應義塾大学)
出版チーム	上野 耕平	(電気通信大学)
	山本 順也	(一橋大学)
	岩崎 ゆかり	(東海大学)

イ 活動状況

○第1回委員会

日 時：令和2年6月18日(木) 9:30～11:30

会 場：Zoomによるオンライン会議

内 容：

1. 報告事項

- ・2019年度大学図書館研究編集委員会会計報告について
- ・2019年度刊行状況について
- ・「大学図書館研究」の編集発行体制について
- ・編集及び査読作業について

2. 協議事項

- ・2020年度大学図書館研究編集委員会事業計画（案）について
- ・第115号の編集作業の分担について
- ・第116号以降の企画について

○第2回委員会

日 時：令和2年12月15日（火）13:00～15:00

会 場：Zoomによるオンライン会議

内 容：

1. 報告事項

- ・国公立大学図書館協力委員会における活動報告について
- ・第115号の発行及び第116号の進捗状況について

2. 協議事項

- ・第117号の編集作業の分担について
- ・第118号以降の企画について
- ・2020年度編集委員会の開催予定について
- ・査読要領の改訂について
- ・小特集記事の記事区分について
- ・出版チームの体制について
- ・記事訂正依頼について

(6) 国公立大学図書館協力委員会シンポジウム企画・運営委員会（東京都立大学）

ア 構成（2020年4月1日現在）

<シンポジウム企画・運営委員会委員>

主査 岡野 純子 慶應義塾大学三田メディアセンター課長

森 一郎 東京大学附属図書館総務課長

飯塚 亜子 千葉大学附属図書館学術コンテンツ課副課長

森村 希 東京都立大学学術情報基盤センター事務室図書・学術情報係

笹渕 洋子 早稲田大学図書館総務課長

<日本図書館協会大学図書館部会個人会員委員>

逸村 裕 筑波大学図書館情報メディア系教授
小山 憲司 中央大学文学部教授
上村 順一 国立情報学研究所学術基盤推進部学術基盤課係長

イ 活動状況

今年度のシンポジウムはオンライン開催となった図書館総合展への参加は見送り、大学図書館著作権検討委員会、国立大学図書館協会東京地区、日本図書館協会大学図書館部会の共催による独自のイベントとして、ウェビナーを開催した。

- ・Zoom ウェビナー接続テスト

日 時：2020年12月18日（金）13:00～14:00

- ・シンポジウムの流れ、画面遷移の確認
- ・Q&A 機能の動作確認
- ・アンケートフォームの動作確認

- ・2020年度大学図書館シンポジウム

テーマ：「オンライン授業における図書館の役割」

日 時：2021年1月22日（金）13:00～16:30

開催方法：Zoom ウェビナーによるオンライン配信

参加者：529名（定員500名）

- ・基調講演：竹内 比呂也（千葉大学副学長・附属図書館長）
- ・事例報告（教員）：

田浦 健次朗（東京大学情報基盤センター長）

岡本 仁宏（関西学院大学法学部・大学院法学研究科教授）

- ・著作権関連の動向：

瀬尾 太一（一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会常務理事）

村井 麻衣子（筑波大学図書館情報メディア系准教授）

- ・事例報告（大学図書館職員）：

小俣 嘉紀（早稲田大学図書館総務課）

梅澤 貴典（中央大学理工学部事務室担当課長）

高橋 菜奈子（東京学芸大学総務部学術情報課長）

(7) 大学図書館コンソーシアム連合（JUSTICE）（横浜市立大学、大阪府立大学）

ア 会員館（大学、大学共同利用機関、省庁大学校等の図書館）549館

国立87館 公立77館 私立370館 その他15館（2021年3月5日現在）

イ 運営体制

大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議

JUSTICE 運営委員会 委員 15 名（会員館から選出）

交渉作業部会・調査作業部会・広報作業部会 委員 32 名 協力員 5 名
（会員館から選出）

JUSTICE 事務局 専任職員 3 名（会員館から出向）

ウ 会議開催状況

(ア) 総会

・臨時総会

日時：2020 年 12 月 7 日～14 日（質問・意見受付）

2020 年 12 月 23 日～2021 年 1 月 12 日（ウェブ審議）

・通常総会

日時：2021 年 3 月 5 日午後（オンライン会議）

2021 年 3 月 8 日～15 日（ウェブ審議）

(イ) 運営委員会

・第 1 回 2020 年 6 月 18 日

・第 2 回 2020 年 11 月 20 日

・第 3 回 2021 年 1 月 27 日

・第 4 回 2021 年 3 月 16 日（予定）

エ 活動内容

(ア) 出版社交渉の実施

(イ) 契約状況調査（2020 年度）

実施期間 2020 年 5 月 11 日～7 月 31 日 調査対象 547 館 回答館数 538 館

(ウ) 版元提案説明会の開催

日程 2020 年 9 月 9 日、10 日

場所 オンライン開催

参加機関・参加者数 234 館 399 名 参加版元 11 社 71 名

(エ) OA2020 への対応検討

(オ) COVID-19 への対応

(カ) 電子書籍に関わる諸問題への対応検討

(キ) 電子リソースのバックファイル・電子コレクション等の拡充

(ク) 電子リソースの管理システムの共同利用

(ケ) 電子リソースの長期保存とアクセス保証

(コ) 研修会・勉強会の開催

・JUSTICE 電子資料契約実務研修会

開催日 2020年7月3日

会場 オンライン開催

内容 第一部 「電子資料の有効活用のために：『電子資料契約実務必携』の活用」
第二部 事例報告

参加者 61名

(カ) 会員向け広報誌『jusmine』の発行

No. 38～No. 40号

(シ) 国際会議への派遣

・国際図書館コンソーシアム連合(ICOLC)の春季(北米)と秋季(欧州)の国際会議は現地開催が中止となったため派遣者なし。

詳細は『2020年度 大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)活動報告』
(<http://www.nii.ac.jp/content/justice/>)を参照のこと。

(8) これからの学術情報システム構築検討委員会(公立はこだて未来大学)

ア 委員

委員長	小山 憲司	(中央大学)
委員	相原 雪乃	(北海道大学)
	斎藤 未夏	(東京海洋大学)
	瓜生 照久	(九州大学)
	栗谷 禎子	(公立はこだて未来大学)
	原 修	(立教大学)

飯野 勝則	(佛教大学)
近藤 茂生	(立命館大学)
福島 幸宏	(東京大学)
柴田 晋	(明治大学)
塩崎 亮	(聖学院大学)
大向 一輝	(東京大学)
小野 亘	(国立情報学研究所)
片岡 真	(国立情報学研究所)

イ 委員会開催状況 (オンライン開催)

第27回委員会	令和2年9月14日(月)
第28回委員会	令和3年1月25日(月)

ウ 活動内容

- (ア) 2020年以降の目録所在情報システム(CAT2020)の運用を開始した。
- (イ) 「これからの学術情報システムの在り方について(2019)」に記載されている持続可能な運用体制(共同体)の構築と図書館システム及び関連システムの共同調達の可能性について意見聴取を行うため、NACSIS-CAT/ILL参加館に対し、図書館システムについてのアンケート調査を実施した。
- (ウ) オープンフォーラムや図書館総合展において、これからの学術情報システムについて、今後の展望を紹介したほか意見交換を行った。

(9) オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR) (富山県立大学)

ア 運営委員 (◎委員長)

- 結城 憲司 (北海道大学)
- 鈴木 秀樹 (筑波大学)
- ◎江川 和子 (東京大学)
- 高橋 菜奈子 (東京学芸大学)
- 杉田 茂樹 (京都大学)
- 西岡 千文 (京都大学)
- 尾崎 文代 (岡山大学)
- 山本 和雄 (鹿児島大学)
- 板倉 由美子 (富山県立大学)
- 鈴木 恵津子 (東京家政大学)
- 折戸 晶子 (明治大学)

原 修 (立教大学)
川崎 康子 (武庫川女子大学)
林 正治 (国立情報学研究所)
小野 亘 (国立情報学研究所)

監事

電気通信大学
奈良県立大学

イ 活動内容

オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR : Japan Consortium for Open Access Repositories) は、リポジトリを通じた知の発信システムの構築を推進し、リポジトリコミュニティの強化と、我が国のオープンアクセスならびにオープンサイエンスに資することを目的とし、国公私立大学図書館協力委員会と国立情報学研究所の間の連携・協力協定に基づき、2016年7月に設立された組織。目的達成のため、次の重点目標を掲げて活動を実施している。

<重点目標>

- ・オープンサイエンスを含む学術情報流通の改善
- ・リポジトリシステム基盤の共同運営と有効活用
- ・リポジトリ公開コンテンツのさらなる充実
- ・担当者の人材育成のための研修活動

ウ JPCOAR 会員機関参加状況【2021年1月8日現在】
662 機関 (うち公立大学 68 大学)

エ 会議開催状況

第11回運営委員会 2020年6月22日 (月)

1. 2019年度総会の結果について
2. メール審議結果及び会員参加状況について
3. 2019年度決算案及び監査結果について
4. 2020年度会長・監事・運営委員会・作業部会・事務局の体制について
5. 2020年度予算及び作業部会の活動計画等について
6. 第22回図書館総合展フォーラム出店について
7. 2020年度海外派遣計画について
8. 2020年度 COAR 加盟に係る名義仕様について
9. 2020年度 JPCOAR 総会の開催について

10. その他

第12回運営委員会 2020年9月3日(木)

1. メール審議結果及び会員参加状況について
2. 2020年度活動中間報告について
3. 次期 JAIRO Cloud (WEK03) 移行について
4. 2020年度予算執行状況及び補正について
5. 2020年度総会について
6. 共同リポジトリ等に関する会費について
7. 図書館総合展出展について
8. Asia OA Meeting 2020 への報告
9. その他

第13回運営委員会 2021年1月29日(金)

1. 次期 JAIRO Cloud (WEK03) 以降スケジュール再変更について
2. メール審議及び会員参加状況について(報告)
3. 2020年度 JPCOAR 総会議事次第について
4. 2021年度会長選出について
5. 2021年度監事選出について
6. 2021年度運営委員会委員について
7. 総会のオンライン開催に関する細則の制定について
8. 共同リポジトリの運用細則の制定について
9. 2020年度活動について
10. 2020年度決算(経過報告)について
11. 改正会費規定の2021年度特例措置について
12. 2021年度活動計画について
13. 2021年度予算案について
14. JPCOAR への活動支援について
15. その他

2020年度オープンアクセスリポジトリ推進協会総会 2021年3月17日(水)

【第1部】

【議案】

1. 2021年度会長選出について(協議)
2. 2021年度監事選出について(協議)
3. 2021年度運営委員会委員について(協議)

4. 改正会費規定の2021年度特例措置について（協議）
5. 2021年度活動計画について（協議）
6. 2021年度予算について（協議）

【報告】

1. 2020年度活動について（報告）
2. 2020年度決算について（経過報告）
3. 次期 JAIRO Cloud (WEK03) への移行について（報告）

(10) 日本図書館協会代議員総会（施設会員）（名古屋市立大学）

ア 2020年度第1回 日本図書館協会 代議員総会

日 時 : 令和2年8月31日（月） 13:00～16:00

会 場 : KKR ホテル東京（東京共済会館）11階「孔雀の間」

議 事 : 議案

第1号議事 公益社団法人日本図書館協会 2019年度事業報告について

第2号議事 公益社団法人日本図書館協会 2019年度決算案及び監査報告書について

第3号議事 大学図書館部会理事の辞任に伴う新理事候補の推薦について

- 報 告
- ① 代議員選出方法等の検討について
 - ② 第106回全国図書館大会和歌山大会について

イ 2020年度第2回 日本図書館協会 代議員総会

日 時 : 令和3年3月12日（金） 13:00～17:00

会 場 : KKR ホテル東京（東京共済会館）11階「孔雀の間」

議 事 : 議案（予定）

第1号議事 補欠議長の選出について

第2号議事 2021年度公益社団法人日本図書館協会事業計画について

第3号議事 2021年度公益社団法人日本図書館協会予算について

第4号議事 公益社団法人日本図書館協会における2021-2022年度理事・監事選任に係る基本方針及び選任方法等について

(11) 日本図書館協会大学図書館部会（東京都立大学、横浜市立大学）

ア 構成（2020年8月1日現在）

部会長 須田 伸一 慶應義塾大学メディアセンター所長

<施設会員委員>

森 一郎 東京大学附属図書館総務課長

成澤めぐみ 筑波大学学術情報部情報企画課長

河西 徹 横浜市立大学学術情報センター学術情報課長

白濱 博人 東京都立大学学術情報基盤センター事務長

笹渕 洋子 早稲田大学図書館総務課長

関口 素子 慶應義塾大学メディアセンター本部総務担当課長

<個人会員委員>

逸村 裕 筑波大学図書館情報メディア系教授

上村 順一 国立情報学研究所学術基盤推進部学術基盤課係長
(総括・連携基盤チーム)

小山 憲司 中央大学文学部教授

イ 活動状況

(ア) 会議

a 2020年度第1回部会委員会（メール会議による開催）

期間：2020年5月29日（金）～6月9日（火）

議題：

- ・2019年度大学図書館部会事業報告（案）について
- ・2020年度大学図書館部会事業計画について
- ・2020-2021年度一般理事（大学図書館部会）の推薦について
- ・2020年度大学図書館部会総会の開催について

b 2020年度部会総会（書面決議による開催）

期間：2020年6月11日（木）～6月19日（金）

書面決議書提出数：147（会員数：974 定足数：98）

議題：

- ・報告事項
- ・2019年度大学図書館部会事業報告及び経費収支報告について
- ・2020年度大学図書館部会事業計画及び予算調書について

協議事項

- ・2020-2021年度一般理事（大学図書館部会）の推薦について

c 部会委員会（文書審議）

期 間：2020年11月16日（月）～11月20日（金）

議 題：2021年度事業計画及び予算調書について

(イ) 事業

a 第106回全国図書館大会（講師謝金、及び旅費支出）

日 時：2020年11月20日（金）～11月30日（月）

開催方法：Web開催

テーマ：図書館の歩みとこれから ―南葵から新しい時代へ想いを繋げる―

b 2020年度大学図書館シンポジウム（講師謝金支出）

日 時：2021年1月22日（金）13:00－16:30

開催方法：Zoomウェビナーによるオンライン開催

（今年度は図書館総合展フォーラムとしての開催はせず）

テーマ：オンライン授業における図書館の役割

運営：国公立大学図書館協力委員会（シンポジウム企画・運営委員会、大学図書館著作権検討委員会）、国立大学図書館協会東京地区との共催

(ウ) その他

大学図書館部会長、理事の交代（2020年8月1日付）

大学図書館部会長

退任：阿部 豊（筑波大学附属図書館長）

新任：須田 伸一（慶應義塾大学メディアセンター所長）

理事

退任：鈴木 秀樹（筑波大学学術情報部長）

新任：松本 和子（慶應義塾大学メディアセンター本部事務長）

(12) Webサイト運用チーム（東京都立大学）

ア 構成（2020年8月1日現在）

主査 成澤 めぐみ（筑波大学学術情報部情報企画課長）

国立 大園 岳雄（東京大学附属図書館総務課企画渉外係）

公立 森村 希（東京都立大学学術情報基盤センター事務室図書・学術情報係）

私立 川島 富貴子（國學院大学附属図書館事務課主幹）

事務局 船山・並木（筑波大学学術情報部情報企画課）

イ 活動状況

- (ア) パスワードの変更（年1回、主査交代時に変更）
 - ・編集用アカウント
 - ①管理者権限、②Webサイト運用チーム、③委員長館、
 - ④大学図書館著作権検討委員会、⑤シンポジウム企画・運営委員会
 - ⑥大学図書館研究編集委員会
 - ・加盟館限定ページ閲覧アカウント

- (イ) メール送信時のエラーメッセージ受信のための設定

- (ウ) 動画コンテンツ（大学図書館シンポジウム）公開のための対応検討

- (エ) 2021年度Webサイト年間保守契約の準備

- (オ) 委託業者による各種メンテナンス（アップデート等）

3 地区活動報告

(1) 北海道・東北地区（名寄市立大学）

○令和2年度公立大学協会図書館協議会北海道・東北地区館会議

日 時：令和2年12月8日（火）～14日（月）

場 所：書面会議

参加館数：17館

承合事項：

- ① 書架の狭隘化対策について
- ② 災害発生時の図書館対応マニュアルについて

(2) 関東・甲信越地区（群馬県立県民健康科学大学）

○令和2年度公立大学協会図書館協議会関東・甲信越地区協議会

日 時：令和2年8月21日（金）～8月31日（月）

開催方法：メール審議

参加数：19大学

1. 協議(確認)事項：

- ① 関東・甲信越地区の役員選出ローテーション表の作成について
- ② 「オープンアクセスリポジトリ推進協会（JPCOAR）監事・委員」の取り扱いについて

2. 承合事項：

- ① 「博士論文の取り扱いについて」
- ② 「延滞本の督促について」
- ③ 「除籍資料の処理方法について」
- ④ 「オンライン授業に伴う利用者指導方法について」
- ⑤ 「図書館資料の郵送による貸出サービスについて」
- ⑥ 「電子ブック・電子図書館の導入状況について」
- ⑦ 「書架狭隘化への対応策について」
- ⑧ 「大学図書館の開館状況について」

(3) 東海・北陸地区（岐阜県立看護大学）

○令和2年度公立大学協会図書館協議会東海・北陸地区館会議

日 時：令和2年12月3日（木） 14時00分～16時08分

会 場：ZOOMによる遠隔会議

参加者数：15大学16名

欠席：1大学

1. 報告事項：

① 今年度の事業進捗について

2. 協議事項：

① 東海・北陸地区の役員ローテーションについて

3. 情報交換

(4) 近畿地区（奈良県立医科大学）

○令和2年度近畿地区協議会総会

日 時：令和3年3月下旬

場 所：Web開催（Zoom）予定

協議事項：令和5年度会長館・総会開催館選出等

(5) 中国・四国地区（高知工科大学）

○第26回公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会総会

日 時：令和2年4月24日（金）

開催方法：メール審議

1. 報告事項：

① 令和元年度事業報告及び令和元年度決算報告について

② 令和元年度監査報告について

2. 協議事項：

① 令和2年度事業計画（案）及び令和2年度予算（案）について

② 新型コロナウイルス感染拡大防止等の各館の対応について

○令和2年度公立大学協会図書館協議会中国四国地区協議会研修会

日 時：令和3年2月4日（木）14:00～17:00

開催方法：Web会議システムによるリモート開催

① 講演 14:00～15:00

講演内容：次期CATと共同運用について

講師：国立情報学研究所 学術基盤推進部学術コンテンツ課 担当者

② 情報交換会 15:10～16:30

各館の新型コロナウイルス感染拡大防止等について、状況報告等を行った。

(6) 九州地区（北九州市立大学）

○令和2年度第71回九州地区大学図書館協議会公立大学部会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、4月に書面での回議となった。

書面回議期間：令和2年4月17日（金）～27日（月）

当番大学：大分県立看護科学大学

参加館：16館（書面上）

内 容：

1. 協議事項：

- ① 学外利用者(卒業生・修了生、一般利用者)に対する支援（サービス）について
（大分県立看護科学大学）

2. 承合事項：

- ① 学外者への図書の貸出・長期延滞者への対応方法について（福岡県立大学）
- ② 教員への長期貸出について（大分県立芸術文化短期大学）
- ③ ラーニングコモンズの設置備品、消耗品、運営体制、利用ルール、マナーについて（沖縄県立看護大学）
- ④ 除籍資料の処分について（大分県立看護科学大学）
- ⑤ 高校生等に対する図書館開放について（大分県立看護科学大学）

3. 次期当番館選出

4 職員研修

(1) 大学図書館職員長期研修について

- ・長期研修：今年度は開催中止。来年度は、今年度の研修が中止となったため、推薦予定であった、大阪市立大学および岡山県立大学を推薦する。
- ・短期研修：開催中止。

5 出版

(1) 公立大学協会図書館協議会『会報 第52号』（令和2年度）

編集 公立大学島根県立大学メディアセンター

発行 公立大学協会図書館協議会

発行年月 令和3年3月

(2) 『大学図書館研究』

編集 国公立大学図書館協力委員会「大学図書館研究」編集委員会

発行 学術文献普及会（冊子）

国公立大学図書館協力委員会大学図書館研究編集委員会（OAJ）

平成29年12月（第107号）よりオープンアクセス誌、冊子未発行

発行年月 平成31年3月（第111号）

令和元年8月（第112号）

令和元年11月（第113号）

令和2年3月（第114号）

令和2年8月（第115号）

令和2年11月（第116号）

令和3年3月（第117号）

URL <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jcul/-char/ja>

会報第 52 号 訂正

p.8 2 会議及び各種委員会等活動

(1) 公立大学協会図書館協議会 令和 2 年度役員会(都留文科大学)

イ 第 2 回拡大役員会

訂正前	期 間: 令和 3 年 3 月 22 日(月)~25 日(木) 開催方法: メールによる書面決議
訂正後	期 間: 令和 3 年 3 月 22 日(月)~29 日(月) 開催方法: メールによる書面決議 3 月 25 日(木)9:30~11:00 に、拡大役員会構成員のうち 10 大学が参加してオンラインでの意見交換が行われた。

p.9 ウ 第 2 回拡大役員会の<協議事項>のうち、主な審議結果

(ア) 第 53 回(令和 3 年度)総会等開催方法(案)について

訂正前	次期会長館の熊本県立大学から提出された資料により、第 1 回拡大役員会は、原案の通り承認された。総会は、開催方法を含め、継続審議として、持ち越しとなった。
訂正後	オンラインミーティングでの議論を踏まえ、第 1 回拡大役員会の日程変更と総会開催方法等の継続審議についての修正案が承認された。

p.33 5.出版 (1) 公立大学協会図書館協議会『会報 第 52 号』(令和 2 年度)

訂正前	編 集 公立大学島根県立大学メディアセンター
訂正後	編 集 公立大学法人都留文科大学附属図書館

p.33 5.出版 (2) 『大学図書館研究』

訂正前	発行年月 平成 31 年 3 月(第 111 号) 令和元年 8 月(第 112 号) 令和元年 11 月(第 113 号) 令和 2 年 3 月(第 114 号) 令和 2 年 8 月(第 115 号) 令和 2 年 11 月(第 116 号) 令和 3 年 3 月(第 117 号)
訂正後	発行年月 令和 2 年 8 月(第 115 号) 令和 2 年 11 月(第 116 号) 令和 3 年 3 月(第 117 号)